

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	教育委員会中央図書館庶務課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立門司図書館 (大里、新門司分館含む)	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市門司区老松町3番3号他	I	— ⑤
	設置目的	『図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする』図書館法第2条		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名 称	株式会社日本施設協会		
	所在地	北九州市戸畑区汐井町1番6号		
指定管理業務の内容	<p>1 教育委員会が定める業務</p> <p>(1) 管理運営に関する業務</p> <p>館長業務(館の運営統括、関係機関・団体等との連絡調整等)、庶務業務(委託業務の経理、人事、広報等)、窓口サービス業務(受付、案内、登録、貸出、返却、レファレンス等)、蔵書管理(選書候補推薦、蔵書整理、排架、蔵書点検、補修、統計等)、文庫管理(ひまわり、団体文庫等)、分館管理(庶務、経理、連絡調整等)</p> <p>(2) 読書奨励等に関する業務</p> <p>読書会、講演会、読み聞かせ会、子育て支援事業、展示、ブックリサイクル等</p> <p>(3) その他業務</p> <p>複写サービス、ボランティア活動支援、指定期間終了時の事務引継ぎ(はじめての絵本事業)ほか</p>			

	2 提案事業 としょかん広場、こどものつどい、大人のためのおはなし会、英語で絵本の読み聞かせ、郷土史勉強会、職員出前読み聞かせ他
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント																																								
1	<p>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。</p> <p>④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>[所見]</p> <p>1 目標値に対する比較（貸出者数）（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>121,250</td> <td>121,500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98,155</td> <td>66,263</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>81.0%</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td>372</td> <td>301</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値に対する比較（貸出冊数）（単位：冊）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>472,000</td> <td>473,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>369,850</td> <td>263,016</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>78.4%</td> <td>55.6%</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td>1,404</td> <td>1,195</td> </tr> </tbody> </table> <p>各年度の実績（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規登録者数</td> <td>872</td> <td>512</td> </tr> <tr> <td>各種行事・講座等参加人数</td> <td>3,302</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>		R1年度	R2年度	目標値	121,250	121,500	実績	98,155	66,263	達成率	81.0%	54.5%	一日平均	372	301		R1年度	R2年度	目標値	472,000	473,000	実績	369,850	263,016	達成率	78.4%	55.6%	一日平均	1,404	1,195		R1年度	R2年度	新規登録者数	872	512	各種行事・講座等参加人数	3,302	87
	R1年度	R2年度																																						
目標値	121,250	121,500																																						
実績	98,155	66,263																																						
達成率	81.0%	54.5%																																						
一日平均	372	301																																						
	R1年度	R2年度																																						
目標値	472,000	473,000																																						
実績	369,850	263,016																																						
達成率	78.4%	55.6%																																						
一日平均	1,404	1,195																																						
	R1年度	R2年度																																						
新規登録者数	872	512																																						
各種行事・講座等参加人数	3,302	87																																						

利用状況について、令和2年度の貸出者数、貸出冊数は、目標値に対する達成率が、それぞれ54.5%、55.6%となり、目標値に到達していない。

両数値が未達なのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館（令和2年2月28日から5月31日まで、6月3日から6月23日まで）や再開館後の開館時間短縮（令和2年6月24日から令和3年3月31日まで）などによるもので、指定管理者の責任によるものではない。

- 2 読書奨励等に関する業務では、本市の「これからの図書館サービスのあり方」等の施策を念頭に置いて読書会や講座、読み聞かせ会、企画展示、ブックリサイクル等を開催した。

なお令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんどの行事が中止となり、行事・講座等については、年間31回の開催、87人の参加であった。

これは門司図書館の建物構造上のハンディキャップがあることを考慮しても、他館に比べて低くなっており、今後、行事等開催に当たっては、より工夫がなされることが望まれる。

ただ、こうした状況下でも新たな取り組みとして、他の地区館と連携してオンラインでの読み聞かせ会をYou Tubeで配信したことは非常に評価できる。

- 3 広報活動では、門司図書館で広報誌「うずしお」（毎月約1,000部）、大里分館で「ともだち」（毎月約350部）、新門司分館で「なかよし」（毎月約1,200部）、をそれぞれ発行し、区内の小学校、幼稚園、保育所や親子ふれあいルーム等で配布することによって、図書館の情報提供を行った。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

- 1 利用者アンケートの結果

令和2年度に実施した利用者アンケートによれば、各サービス項目について、回答者の約8割が満足であると回答しており、概ね良好なサービスが提供できている。

但し、「対応の親切さ」及び「明確な説明」については、一昨年度のアンケート結果より、約10ポイント低くなっている。

今後は、利用者等への適切な対応の改善に向けて、全職員を挙げての取り組みが望まれる。

	H30年度	R1年度	R2年度
対応の親切さ	94.6%		81.1%

明確な説明	90.0%		80.2%
図書の並べ方	90.0%		96.3%

※満足度は全回答者のうち、「非常に満足」「満足」と回答した人数の割合

※令和元年度は、図書館の臨時休館に伴いアンケートは中止

2 利用者からの意見の把握・取り組み状況

利用者アンケートに加え、館内に意見投書箱を設置し、日々確認することで利用者からの苦情・要望・意見に真摯に向き合い、迅速に対応することにより、業務に活かす体制をとっており、市民が少しでも利用しやすく、心安らぐ図書館作りに取り組んでいる。

3 個別の苦情・要望処理について

一部、利用者への対応が不十分なまま中央図書館に引き継いだ事案がある。当時対応に当たった館長、次長が相次いで退職した上に、初期段階で中央図書館と十分な連携が取られておらず、今後、適切に対応することが望まれる。

2 効率性の向上等に関する取り組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

(単位：千円)

指定管理料	R1年度	R2年度
予算	77,915	78,630
決算	77,915	78,630
うち光熱水費 (決算全体に占める割合)	4,655 (6.0%)	4,399 (5.6%)
うち再委託料 (決算全体に占める割合)	5,356 (6.9%)	5,405 (6.9%)

- 1 光熱水費の節約については、①館内の照明・空調は、開館してから点ける、②日中など不要な電灯は消灯する、③電子機器の電源は、使わないときは切る、④指定管理者の社員間で通話が無料となる携帯電話を活用する、等の対策を継続的に実施した。

また新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や施設の利用制限を行ったことにより、光熱水費が指定管理料に占める金額、割合ともに、令和元年度を下回っている。

2 再委託料の低減については、以前から継続して、施設や設備管理に実績のある自社ノウハウを生かすとともに、①発注の際は必ず複数の業者から見積もりを取る、②用品等の消耗品については、一括購入することで費用を抑える、③委託先と年度ごとの単価の引き下げ交渉を行う、④職員でできる業務は委託等の発注項目から削除する、等を通じて経費の低減を図っている。

3 光熱水費及び再委託料の個別の低減への取り組みについては、日常業務の中で継続的に実施されている。指定管理料の予算額と決算額が同額となっているが、これは利益や損失を計上できない現行の決算報告書様式によるものであり、経費の効果的・効率的な執行についての判断は困難である。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

—

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

1 職員 21 人中約 81% の 17 人（令和元年度 22 人中 19 人）が司書資格を有しており、年度協定で定められた司書資格の保有率 75% を超える配置を行っている。これにより、職員配置の際に資格の有無を気にせず、合理的な配置が可能となっている。

2 図書館の臨時休館に伴い、時短勤務やテレワークにより通常業務が制限される中、業務再開に備えてのPOPの作成や、参考図書による地域の歴史・文化についての知識習得に努めるなどして、日常業務におけるレファレンスサービス等のスキル向上を図るための、絶え間ない人材育成への取り組みは評価できる。

3 図書館の臨時休館等に伴い、各種行事の開催が制限されることとなり、毎年、地元郷土会と連携して開催してきた「門司文化講演会」やボランティアによる多くの読み聞かせ会が中止となった。

こういった状況にも関わらず、読み聞かせボランティアからは、お話し会開催の強い希望が出された。これを受け、以後のお話し会については、感染症対策に留意しながら小規模かつ短時間の開催の検討を進めるなど、図書館職員と連携した取り組みがなされている。

地元小学生の施設見学では、3校 139人の受け入れを行い、丁寧な対応で学校における読書活動の推進を図った。

また、門司区内2ヶ所の市民センターに設置したリサイクル本コーナーにおいて年間計18回、351冊の本を提供した。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- 1 シュレッダーを設置し、紙媒体の機密情報（利用者の貸出・延滞情報等）を適正に破棄し、電子媒体の情報については、業務システムからのデータ持ち出しや、画面の個人情報を利用者へ見せない等、情報漏洩しないよう取扱いが徹底されている。
また、個人情報保護に関して、全職員から誓約書を徴している。以上のような対策の結果、個人情報の保護に関する事故は発生していない。
- 2 各館で作成している広報誌を市民センターや小学校、幼稚園、保育所に配布するとともに、各行事のチラシも区役所、市民センター等の近隣施設に配布することによって広報活動を実施し、多くの利用者が平等に図書館を利用できるよう配慮した。
- 3 経理事務処理及び施設維持に係るモニタリング実施結果から、経理事務及び施設管理運営とも適正に行われている。
- 4 館内、館外の巡回の際に、危険と思われる箇所や改善すべき点について日常から留意し、必要に応じて自主的な対応を行ったほか、中央図書館への報告を行った。
また、図書館職員の連絡網を作成し、災害等に対する職員の意識を高め、緊急時に対応出来るようにし、常日頃から職員への周知を徹底している。
さらに、触法的利用者に対しては、注意喚起を行うと共に、警察署との連携に努めており、即応体制が整っていることは評価できる。
- 5 事故発生時や非常時については、館長、次長は、速やかに事態を把握し、場合によっては本社と対応を協議しながら、迅速に対応を行った。

【総合評価】

〔所見〕

- 1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や再開館後の施設利用制限により、目標数値の未達成や館内行事の中止など、大変厳しい状況下での指定管理業務の執行となっている。
- 2 こうした状況下においても他館の指定管理者と協力して、読み聞かせ動画を作成して、You Tube 配信をしたり、図書館ボランティアと連携して、新しいお話し会開催に向けての工夫やアイデアを模索する取り組みを行っていることは評価できる。

〔今後の対応〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や再開館後の開館時間短縮という止むを得ない状況にあったが、利用者の満足度は高い評価を受けており、概ね良好なサービスが提供できている。

ただ、一部のアンケート結果については、前回に比べて低い結果が出ているので、更に利用者のニーズに配慮した質の高いサービスの提供に取り組むと共に、施設運営については、絶え間ない経費の効果的・効率的な執行に努めていただきたい。